

## 「ICONE19 (第19回原子力工学国際会議)」の誘致成功について

平成21年5月15日

(財)ちば国際コンベンションビューローは、2011年5月に開催される「ICONE19 (第19回原子力工学国際会議)」の誘致に成功しました。幕張メッセを主会場とし、周辺施設を分科会場とする国際会議です。

世界40ヶ国、約800名の化学、計算科学、材料、電気、機械、原子力、システム工学の各分野の研究者・技術者が集まり、増え続けるエネルギー需要の対応に原子力を安全でかつ効率的に活用するための議論を行います。

千葉県開催は初めてであり、会場の使い勝手や宿泊、また成田空港からのアクセス等幕張地区での利便性が高く評価され、開催決定に至ったものです。本会議が開催されることにより、本県の知名度向上に繋がるとともに、千葉県の魅力を広く発信する機会となることが期待されます。

### 1. コンベンションの名称

「ICONE19 (第19回原子力工学国際会議)」

The 19th International Conference on Nuclear Engineering

2. 主催団体 日本機械学会、米国機械学会、中国原子力学会

3. 開催時期 2011年5月15日(日)～5月18日(水) 4日間

4. 会場 幕張メッセ 国際会議場  
APA ホテル&リゾート 東京ベイ幕張  
ホテルニューオータニ幕張 (レセプション)

5. 参加人数 約800名(海外から400名) 予定

6. 経済波及効果 2億円 (CCBIC 推定)

## 【参考】

### 1. 本会議の誘致決定までの経緯

- \*2008年12月 「国際ミーティングエキスポ (IME08)」にて、主催者が千葉ブースに来場。「ICONE19」開催の情報を得、千葉への誘致を開始。
- \*2009年2月 主催者が幕張を視察。幕張開催のプレゼンテーションを実施。
- \*2009年4月 主催者役員が幕張を視察。
- \*2009年4月 幹事会にてICONE19の幕張開催が正式決定。

### 2. 過去の開催地（予定含む）

本会議は毎年1回開催されており、日本、中国・米・欧州の4地域で持ち回り開催。日本では4年に1回の開催となっている。

ICONE1	1991年11月	東京	京王プラザホテル
ICONE2	1993年3月	米国	サンフランシスコ
ICONE3	1995年4月	京都	国立京都国際会館
ICONE4	1996年3月	米国	ニューオリンズ
ICONE5	1997年5月	フランス	ニース
ICONE6	1998年5月	米国	サンディエゴ
ICONE7	1999年4月	東京、京王プラザホテル	
ICONE8	2000年4月	米国	ボルチモア
ICONE9	2001年4月	フランス	ニース
ICONE10	2002年4月	米国	アーリントン
ICONE11	2003年4月	東京、京王プラザホテル	
ICONE12	2004年4月	米国	アーリントン
ICONE13	2005年5月	中国	北京
ICONE14	2006年7月	米国	マイアミ
ICONE15	2007年4月	名古屋	国際会議場
ICONE16	2008年5月	米国	オーランド
ICONE17	2009年7月	ベルギー	ブラッセル
ICONE18	2010年5月	中国	西安